

慣用表現力を鍛える
英語の句動詞

動画解説付き

田中茂範(著)

はじめに

英語らしい表現をするには、いわゆる句動詞をマスターする必要があります。重要句動詞については別冊で、現代英語においてよく使われる句動詞を 300 個ぐらい整理しました。本書では、その中でも最重要と思われる、以下の 11 個の基本動詞を選び、それぞれが繰り広げる句動詞の世界を見ていきます。

take, carry, break, give, push, hold, keep, bring, put, run

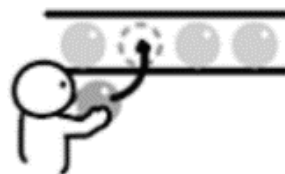
本書では、動詞と空間詞のコアの融合（コア融合：core blending）の発想でこれらの句動詞を一貫した形で学んでいきます。コア理論は筆者（田中）が1980年代の初頭から唱えているものです。take や over には辞書を引くとたくさんの意味が載っています。しかし、コア理論では、「それぞれの語には本質的な意味がある」と主張します。そして本質的な意味のことをコアと呼んでいます。

ここで取り上げる句動詞は take over のように動詞＋空間詞の形で表現されます。take over を通常の辞書で引くと「引き継ぐ」「乗っ取る」という一見無関係と思われる意味が載っています。コア理論では、これらの意味合いもコア融合（take のコアと over のコアの融合）で説明が可能です。

take over の over は品詞的には「副詞」ですが、句動詞で使われる副詞のほとんどは空間的な意味合いを持つものであり、本書では「空間詞」という呼び方をします。

それぞれの句動詞について、コア融合のイラストを使って、いろいろな状況への応用を実感してみてください。これが、句動詞をマスターする方法です。例えば、take back のコア融合のイラストは次のページのように表すことができます。

このイラストは、「何かを（手にして）元の状態に戻す」ということを表現しています。まさに、take と back が融合した図式です。そして、このイラストを次のような状況に当てはめてください。「手にして」の部分は比喩的に理解する場面が少なくありません。



＜ある女性宅を訪問して帰宅する際に＞

She **took** us **back** home in her car. (私たちを家に送り返してくれた)

＜悪口を言われて＞

You called me a fool. **Take it back**. (バカと言ったね。取り消してよ)

＜懐かしい食べ物を食べて＞

Eating this food really **takes** me **back** to my childhood. (これを食べてると子供のころに連れ戻されるなあ)

この3つの状況に共通のイメージが働いていることに気づけば、take back の応用力が身に付くはずです。実際、英文を読む場面で、take back に遭遇することがあるでしょう。その際に、ここで学んだコア融合のイメージを思い出すとよいでしょう。本書では、直観的にイメージと状況がフィットする場合は除き、少しわかりにくい場合には「☞」として簡単な解説を行っています。なお、本書で使用したコア融合のイラストは、『ランク順 入試英熟語 1100』（田中茂範・阿部一著、学研プラス）に拠るものです。こちら併せて利用していただければ幸いです。

なお、それぞれの句動詞には動画解説が付いています。QRコードをスキャンして利用ください。



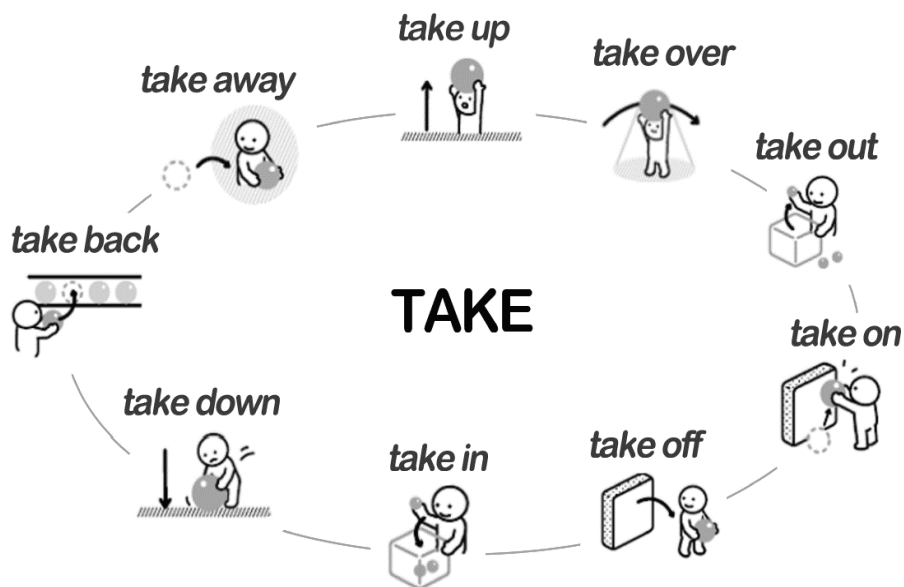
句動詞の世界に関する動画

田中茂範
PEN言語教育サービス代表
慶応義塾大学名誉教授

目次

1. 重要句動詞：take	4
2. 重要句動詞：carry	15
3. 重要句動詞：break	22
4. 重要句動詞：give	30
5. 重要句動詞：push	37
6. 重要句動詞：hold	43
7. 重要句動詞：keep	51
8. 重要句動詞：bring	57
9. 重要句動詞：put	64
10. 重要句動詞：run	73
11. Exercise One	79
12. Exercise Two	89

TAKE が繰り広げるコア融合のイラスト

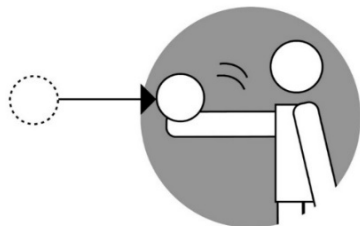


TAKEの句動詞に関する動画

TAKE のコア

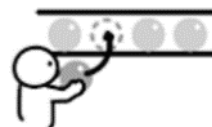
「何かを自分のところに取り込む」

take を使った句動詞では、take の「手にして」の部分が強調される。



TAKE BACK

「何かを手にして、元の状態に戻す」



<図書館から本を借りていたことを思い出して>

I should **take it back** to the library. (図書館に本を返さなきゃ)

<何か相手を傷つけることを言ってしまった>

I'm sorry. I **take back** what I said. (ごめんなさい。発言を撤回します)

<ある音楽を聴いていると懐かしい気持ちになって>

Listening to this song really **takes me back** to my childhood. (この曲を聴いていると子供の頃に連れ戻される)

☞この曲を聴くことが私を手にして子供の頃に戻してくれるという感じ。

<彼女と大喧嘩。もう元の状態には戻れない>

She left me without saying anything. I don't think she would ever **take me back**. (彼女が僕とよりを戻すということはないと思う)

TAKE OUT

「何かを手にして、外に出す（外にある状態にする）」

take out は実に多様な状況で使われる。「何かを持ち帰る／（ゴミなどを）出す／デートに連れて行く／（コンタクトレンズを）取り出す／抜歯する／（染みなどを）取り除く／（図書館などから本を）持ち出す／（保険）に入る／ローンを借りる」など。



<ホットドッグ屋で>

To eat here or to **take out**? (こちらで食事されますか、それともお持ち帰りですか)

☞米国ではto goというほうがふつう。

<夫が仕事に出かけるとき、妻が>

Take out the garbage, will you? (ゴミを外に出してね)

<彼氏に今夜外でデートしたいと言う女性>

Are you going to **take me out** tonight? (今夜外に連れて行ってくれるの?)

<コンタクトレンズを外す際にも take out>

She **took out** her contact lenses before she washed her face. (彼女は顔を洗う前にコンタクトを外した)

☞「コンタクトレンズをはめる」は put in contact lenses と目の中に位置させるということであるのに対して、「コンタクトを外す」場合は「取り出す」感じ。

<歯科医で親知らずの抜歯>

The dentist **took out** my wisdom teeth before they started causing any problems. (歯科医は、厄介なことになる前にぼくの親知らずを抜いた)

<シミ取りには take out がピッタリ>

I had a hard time to **take out** this stain from your dress. (君のドレスのシミを抜くのに苦労したよ)

<図書館で持ち出し可能な本の数を聞いて>

You can **take out** five books at a time, but no more. (一度に5冊までで、それ以上はだめです)

<保険に入る際にも take out>

He **took out** a life insurance policy right after he got married. (彼は結婚してから生命保険に入った)

☞「家に保険を掛ける」は take out insurance on a house という。英語的には「(必要な手続きをして)保険を取得する (take out)」という感じ。「結婚証明書の取得」も take out a marriage license、「ローンを借りるとき」も take out a loan という。

TAKE ON

「何かを手にして何かに接する状態にする（なる）」

主語が「私」なら「自分の土俵に乗せる」と考えてもよい。そこで、以下のような状況で take on が使われる。



「引き受ける／様相などを帯びる／対戦する／挑戦する／雇う」

<ある女性がタイプ打ちの仕事を引き受けてくれた>

She **took on** the task of typing all those documents. (彼女はその書類全部をタイプする仕事を受けてくれた)

☞ タイプの仕事を自分のところに乗せる（請け負う）感じ。仕事を手にして自らに課すと解釈することも可能。

<請け負える以上のことを受けようとする人に>

You should never **take on** more than you can do. (できること以上のことを請け負ってはだめだ)

<状況が新しい様相を見せてきた>

The situation begins to **take on** a new aspect. (状況が新しい様相を呈してきた)

☞ 比喩的に、ある状況が新しい様相 (a new aspect) を自らに乗せる（帯びる）という感じ。

<不安げな表情を浮かべた状況で>

His face **took on** an anxious expression. (彼に顔には不安な表情があった)

☞ 顔が不安な表情を帯びる。

<テニスを始めて間もない人が、プロと試合をやってみたい>

I'm just a beginner, but I'd like to **take on** someone who is an expert tennis player. (ぼくはまだ始めたばかりだけど、プロのテニス選手のだれかと戦いたいな)

☞ テニスでプロの選手を相手として土俵（テニスコート）に乗せたいという感じ。

<新しいスタッフを雇う計画>

We're going to **take on** five new staff next year. (次年度は 5 名の新しいスタッフを雇用する予定だ)

☞ 5 名のスタッフを職場に乗せる（配置する）感じ。

TAKE UP

「何かを手にして up の状態にする（なる）」

これはわかりやすいイメージ。以下のような状況で take up は使われる。



「占める(取り上げる) / 占有する / 時間などをとる / 趣味などを始める / 任務に就く / ~の丈を詰める」

<大きな机が空間を占める>

This desk is so huge that it **takes up** space in the room. (この机は大きすぎて部屋のスペースを取ってしまう)

☞ 文字通り、部屋の空間を取り上げるということ。

<貴重な時間を使ってくれた相手に分かれ際に>

I'm sorry to have **taken up** your precious time. (貴重なお時間を取ってしまい申し訳ありません)

<ゴルフを始めた人を指して>

He's just **taken up** golf. (彼はゴルフを始めたばかりだ)

☞ 趣味としてゴルフを取り上げたということ。

<大統領が職務に就く>

The new president will **take up** his duties in January. (新しい大統領は 1 月に職務に就くことになっている)

☞ 大統領としてやるべきことを取り上げる (はじめる)。

<少しスカートが長いので丈を短くする>

She decided to **take up** her skirt a little bit. (彼女は、スカートの裾をちょっと上げることにした)

☞ 大きさを詰める場合は「内に詰める」なので take in. 長さを短くするという場合は、上にあげることなので take up になる。手にして (裁縫で) up の状態にすること。

TAKE AWAY

「何かを手にして遠ざけた状態にする」



<食事を終えて「皿を下げていただけませんか」>

Could you **take** these plates **away**? (この皿を片付けてもらえませんか)

☞ 皿を手にして (take)、食卓から遠ざける (away)。

<頭が痛いという人に薬を差し出す>

This medicine **takes** your pain **away**. (この薬を飲めば痛みが消える)

<引き算の計算を70から100を引けば、30が残る>

When you **take** 70 **away** from 100 , you're left with 30 . (100 から 70 を引けば、30 が残る)

☞ 引き算は数を引く対象となる数を from だけでもよいが、away from とすることで引き去るという感じが強調される。

TAKE DOWN

「何かを手にして、下のほうに移動させる」

高い所から低い所への動き：「下ろす」「（飾りなどを）外す」
「（テントを）畳む」「書き留める」



<戸棚の高いところから書類をとって欲しいと頼む>

Could you **take that down** from the top shelf? (戸棚の一番上にある書類をとってもらえますか)

<クリスマスの飾り着けをしたものの取り外しは大変>

Who wants to **take down** the Christmas decorations? (誰がクリスマスの飾りを取るの?)

<テントをたたむ時>

Would you help me **take down** the tent? (テントたたむのを手伝ってくれませんか)

☞ テントを張るは put up the tent というが、たたむ際には張ったテントを下におろす感覚があるため take down the tent という。

<上司のコトバを書き取るよう頼まれて>

She **took down** every word her boss said. (彼女は上司の言ったことをすべて書き留めた)

☞ コトバを「手にして下に移動させる」というイメージを「書き留める」という状況に比喩的に投射。

TAKE IN

「何かを手にして中（内側）に取り込む」



<雨が降ってきたので洗濯物を部屋に入れるという状況で>

It's just started raining. I'd better **take in** the washing. (雨になった。洗濯物を取り込まなきゃ)

<スーツの試着をしたところ、胸元あたりが少しぶかぶかしている>

This suit needs to **be taken in** about two centimeters here. (このスーツ、このところを2センチほど詰める必要がある)

☞幅を狭めるは take in で、広げるは let out という。

<どこかで何かを売ってお金を take in するといえば>

The woman **took** a lot of money **in** at the garage sale. (その女性はガレージセールでたくさんのお金を集めた)

<泊まることができるホテルを探していて>

There's a hotel **in** town. They'll **take you in**. (町にホテルがあるよ。そこで泊まれるよ)

☞ホテルに人を取りイメージから、「ホテルに泊めてもらえる」という意味になる。

<村が吸収合併される状況で>

Small villages tend to **be taken in** by adjoining towns. (小さな村は隣接する町に吸収合併される傾向にある)

☞村が町に取り込まれる感じ。

＜相手の言っていることを理解する＞

He spoke so fast, but I was able to **take in** what he had said. (彼はとても早口だったが、何を言ったか理解することができた)

＜ありえないような申し出につけ込まれそうな人に＞

Be careful not to **be taken in** by her unlikely offer. (彼女のありえない申し出にだまされないようにしないとね)

☞「相手側に取り込まれる」という感覚から「だまされる」という意味合いが出てくる。

TAKE OFF

「何かを手にして離れた状態にする」



＜コートを着て部屋に入ってきた人に＞

Please **take off** your coat. (どうぞコートを脱いでください)

☞コートを手にして、着ている状態 (on の状態) から、体から離れた状態 (off の状態) にする。

＜化粧を落としたら＞

She **took off** her make-up and looked like another girl. (彼女は化粧を落としたら、まるで別人だった)

☞化粧するは put on one's make-up で、顔についた化粧を手にして落とすから take off となる。

＜散髪屋で＞

Could you **take** a little more **off** in back? (後ろのところを少しカットしてもらえますか)

☞後ろの髪の毛をもう少し取る、ということ。a little more は a little more hair ということ。

<ダイエットをしていたある女性が>

She has **taken** a lot of weight **off**. (彼女は、ずいぶん体重を落とした)

☞ 身体についている脂肪を体から取る感じ。

<明日は仕事をオフにしよう>

I'm going to **take** tomorrow **off**. (明日は休みます)

☞ 「工作中」は on duty、「オフ」は off duty

<飛行機が離陸する場面で>

The plane's going to **take off**. Please fasten your seat belts. (飛行機はまもなく離陸します。シートベルトを締めてください)

☞ 飛行機が自らを手にして (take)、地面から離れる (off) 「離陸する」のイメージ

<仕事が順調だった時を思い起こして>

My career was **taking off** back in 1980s. (80年代は仕事は順調だった)

☞ 飛行機が離陸するように仕事はスムーズに推移していたということ。

TAKE OVER

「何かを引き継ぐ」と「何かを乗っ取る」

「何かを手にして自分のところに取り込む」と「弧を描く」という over の経路のコアが重なり合った感じ



<語学教師として引き継ぐことになって>

Tom **took over** from Bill as a language teacher. (トムはビルから語学教師として引き継いだ)

<車を運転する状況で、途中で代わってもらいたい>

I'll drive the first two hours, and then you **take over**, O.K.? (最初の 2 時間は私が運転するから、それからは代わってね)

<会社を乗っ取る状況で>

The big company **took over** the struggling firm. (その大企業はその苦しい状況の会社を乗っ取った)

☞何かを手にして (take)、全体を覆う・監視する (over)

<技術が取って代わる>

Now is the time when technology **takes over**. (今や、技術が取って代わる時代だ)